

平成29年7月31日改訂版
国産水産物流通促進センター

外食産業関係者と給食関係者等の募集について
(平成28年度補正外食産業等と連携した水産物の需要拡大対策事業)

国産水産物流通促進センター（以下「センター」という）では、国産水産物の需要フロンティアの開拓を図るため、産地と外食産業関係者と給食関係者（以下、外食・給食関係者等）との連携により、国産水産物を活用した新商品の開発を推進する取組を支援する標記事業を行っております。

本事業の一環として、産地水産関係者と外食・給食関係者を繋げるイベントを開催いたします。

つきましては、イベント開催するにあたり、『定食、ランチ、お弁当や給食の「おかず」』として使用する国産水産物の調達にご関心があり、ご自身のお店等のニーズの開示等にご協力いただける外食・給食関係者等を募集しますので、是非、ご応募いただけますよう、お願い申し上げます。

記

1 趣旨

外食・給食関係者等は国産水産物消費の一翼を担っています。しかし個々の加工、調理能力は、様々であり、納入品にもとめる様態、規格、サイズ等の条件は多様化しています。そのため、外食・給食関係者等にとっては、自らが欲しい商品を探すことが困難で、規格化された水産物の原材料メニューから、商品を選択、調達せざるを得ないといわれています。

一方、水産物の生産、加工を生業としている方々にとっては、プロダクトアウトを前提とした商品開発や販売を行うために、消費者や外食・給食関係者等の多様なニーズを把握する必要があり、困難といわれています。

このような状況にかんがみ、個々の外食・給食関係者等が調達したい国産水産物の「おかず」（以下「国産水産物新商品」といいます。）のニーズをセンターが取りまとめて公表し、漁業者や水産加工業者等の産地水産関係者がこれに沿った新商品を開発提案する催しを開催し、外食・給食関係者等と産地水産関係者とのマッチングを図り、直接的な取引を促します。また、産地水産関係者と給食関係者が繋がるきっかけを作るため、試食相談会を開催します。

2 募集内容

- (1) 主 催：国産水産物流通促進センター
- (2) 対 象 者：外食産業関係者と給食関係者（外食・給食関係者等）
- (3) 募集期間：平成29年7月18日～8月15日（状況により締め切らせて頂く場合がございます）
- (4) 負担経費：センターが主催する会合及びイベント出席のための交通費（センター内規によります）を、センターが負担します。

(5) 実施の流れ

- ① 外食・給食関係者等が国産水産物新商品（定食、ランチ、お弁当や給食のおかず）のニーズ（魚種、形態、荷姿、納入単価、納入場所、納入頻度等々）について取りまとめ、センターに提出します。
- ② センターは、①の納入条件等を公表し産地水産関係者を対象とした課題提案（ペーパー及び写真等）を募ります。
- ③ センターは、外食・給食関係者等とともに応募のあった課題提案より、魅力ある提案をした産地水産関係者を選びます。
- ④ センターは催しの開催日等を決定します。
- ⑤ 選ばれた産地水産関係者は、イベント当日に、課題提案結果である国産水産物新商品又は国産水産物新商品として開発中の試作品を持参し、国産水産物新商品についてのプレゼンテーション、試作品に関する試食相談を行います。

(6) 応募にあたっての注意事項

- ① 国産水産物新商品の納入条件等は、センターがホームページで公表（団体名は非公開）し課題提案を募ります。
- ② センターが行う実地調査にご協力いただきます。なお、当該実地調査結果について、センターは公表する場合があります。

(7) 応募方法

申込書を郵送または mail か FAX にてご送付ください。

(8) 問い合わせ先

国産水産物流通促進センター

公益社団法人日本水産資源保護協会 担当 山口 耕

〒104-0044 東京都中央区明石町1番1号 東和明石ビル

TEL 03-6680-4277 FAX 03-6680-4128

Email : yama-jfrca@mbs.sphere.ne.jp